

資料I

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
(第4回)

2023年9月28日(木) 10:00-12:00

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ の進捗報告

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループについて

1. 検討事項

- (1) 新しい時代の学びを実現する学校施設の具体的な整備事例と教育上・生活上の効果について（ウェルビーイングの観点も含む）
- (2) 学校関係者等の参画による豊かな学びの環境整備について
- (3) その他

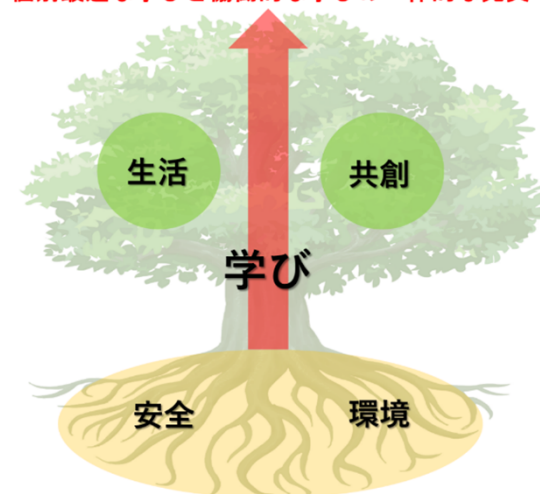
2. 委員

赤松佳珠子	法政大学デザイン工学部建築学科教授
座長 伊藤 俊介	東京電機大学システムデザイン工学部教授
垣野 義典	東京理科大学創域理工学部建築学科教授
金子 嘉宏	東京学芸大学教育インキュベーションセンター教授
小林 生吉	北海道中頓別町長
高橋 純	東京学芸大学教育学部教授
長澤 悟	東洋大学名誉教授
林 立也	千葉大学工学部総合科学科准教授
古谷 正人	千葉県柏市教育委員会学校教育部教育施設課長
毛利 靖	茨城大学教育学部教授
山崎 亮	関西学院大学建築学部教授

(特別協力者)

藤井 淳志 国立教育政策研究所文教施設研究センター総括研究官

全ての子どもたちの可能性を引き出す、
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



新しい時代の学び舎として目指していく姿(イメージ図)

【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

- 学び ≫ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する
- 生活 ≫ 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現する
- 共創 ≫ 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現する

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

- 安全 ≫ 子どもたちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現する
- 環境 ≫ 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現する

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ 開催状況 (令和5年4月以降)

第2回 (4月27日 (木) 15:00-17:00)

- ◆次期教育振興基本計画について
 - ・ 総合教育政策局政策課
- ◆効果検証について
 - ・ 垣野義典委員
 - ・ 林立也委員
 - ・ 施設企画課

視察 (6月13日 (火))

東京学芸大学附属竹早小学校・竹早中学校

第3回 (6月26日 (月) 14:00-16:00)

- ◆生活の場としての学校施設について
 - ・ 岐阜県岐阜市立草潤中学校 (不登校特例校)
 - ・ 奈良県香芝市教育委員会 (だれでもトイレ)
- ◆視察報告について

第4回 (8月3日 (木) 10:00-12:00)

- ◆共創の場としての学校施設について
 - ・ 小林生吉委員
 - ・ 国立教育政策研究所文教施設研究センター
(対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセス事例紹介)

視察 (8月24日 (木) ・ 25日 (金))

広島県 府中市立栗生小学校、府中市立第一中学校、府中市立府中学園
福山市立常石ともに学園、福山市立想青学園

第5回 (8月29日 (火) 10:00-12:00)

- ◆学びの場としての学校施設について
 - ・ 高橋純委員
 - ・ 赤松佳珠子委員
- ◆視察報告について

※今後の予定 (9月28日時点)

視察 (10月6日 (金))

千葉県 柏市立田中北小学校、柏市立土小学校

第6回 (10月16日 (月) 15:30-17:30)

- ◆共創による学校づくり・地域に開かれた学校の事例
 - ・ 山崎亮委員
- ◆アイデア集についての議論
 - ・ 生活・共創について

第7回 (12月21日 (木) 15:00-17:00)

- ◆アイデア集についての議論
 - ・ 学びについて

第8回 (3月頃)

- ◆アイデア集の取りまとめ

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第2回）の概要

第2回（4月27日（木）15:00-17:00）

議題1 次期教育振興基本計画について

資料1 「次期教育振興基本計画について」を文部科学省総合教育政策局政策課から説明。

委員の主な意見

- ・子供たちの心身の健康や、学校の**みんなが満足でき、生き生きと学習や生活ができる**ようにするためには、一斉授業で先生の話だけをじっと聞くというのではなく、児童生徒が**それぞれの問題解決学習や協働学習を様々な場所でできる**ことが重要で、**施設的环境はとても大事**。GIGA端末を上手にを使って、ウェルビーイングを達成していくことは重要。

議題2 効果検証について

資料2-1 「効果検証について」を垣野義典委員から説明。

資料2-2 「学校の環境が児童・生徒の学習意欲に与える影響について」を林立也委員から説明。

資料2-3 「学校施設整備の効果の検証について」を事務局から説明。

委員の主な意見

- ・教職員の空間に対する評価は、空間の使い方を理解できているかが影響しているのではないか。
- ・それぞれの施設には**色々な設計の意図**が込められている。その**意図が教員や子供たちにどのように伝わり、どのような効果を生んでいるのか**を分析するのがよい。また、意図していなかった効果や工夫も重要。
- ・「パターンランゲージ」的に提示することも考えられる。ただし、単純な引用や組み合わせではなく、それぞれの**特徴や相互関係を踏まえる**ことが必要。
- ・空間の効果には検討プロセスが大きく影響する。**教員も共に学びながら、その空間で行う授業の在り方の発想を生み出すようなファシリテーション**があるべき。使い始めた後も、**他の教員が学び合う仕組み**をつくり、継承していけるとよい。教員の空間活用 **4**の発想力は、壁や柱と同様、児童生徒の行動を制約する要因になり得る。

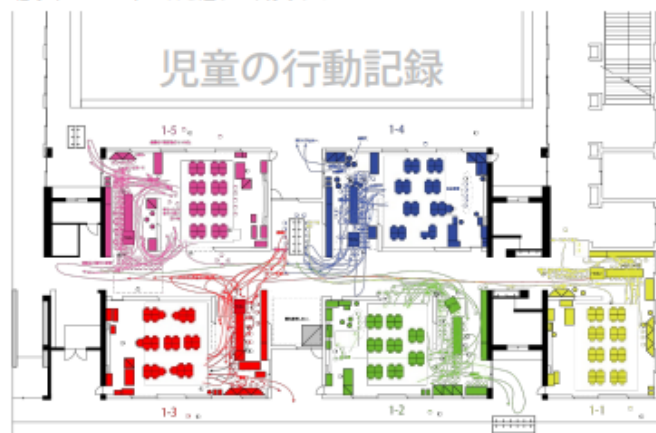
学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第2回）の概要

第2回（令和5年4月27日）垣野委員説明資料（抜粋）

実際の児童の行動から
空間の効果を考える

2017.9.20 1年生ユニット 1日全体

低学年にとって、一日を通して十分なサイズ



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第2回）の概要

第2回（令和5年4月27日）垣野委員説明資料（抜粋）

クラスルーム並行配置型のユニット
における家具配置から、「私のクラス」がみえる

手洗い場周辺には複数の学級の分布
個人収納棚周辺の分布

児童の分布は、家具配置領域内に収まる傾向にある

特徴

- 1 各学級の家具は壁際まで「ここまでが私のクラスよ」と明言している
- 2 突き当たりのクラスは、他のクラスに気を遣わずのびのび伸縮できる
- 3 中央に「新米教師」が配置されることがある

教師の領域認識

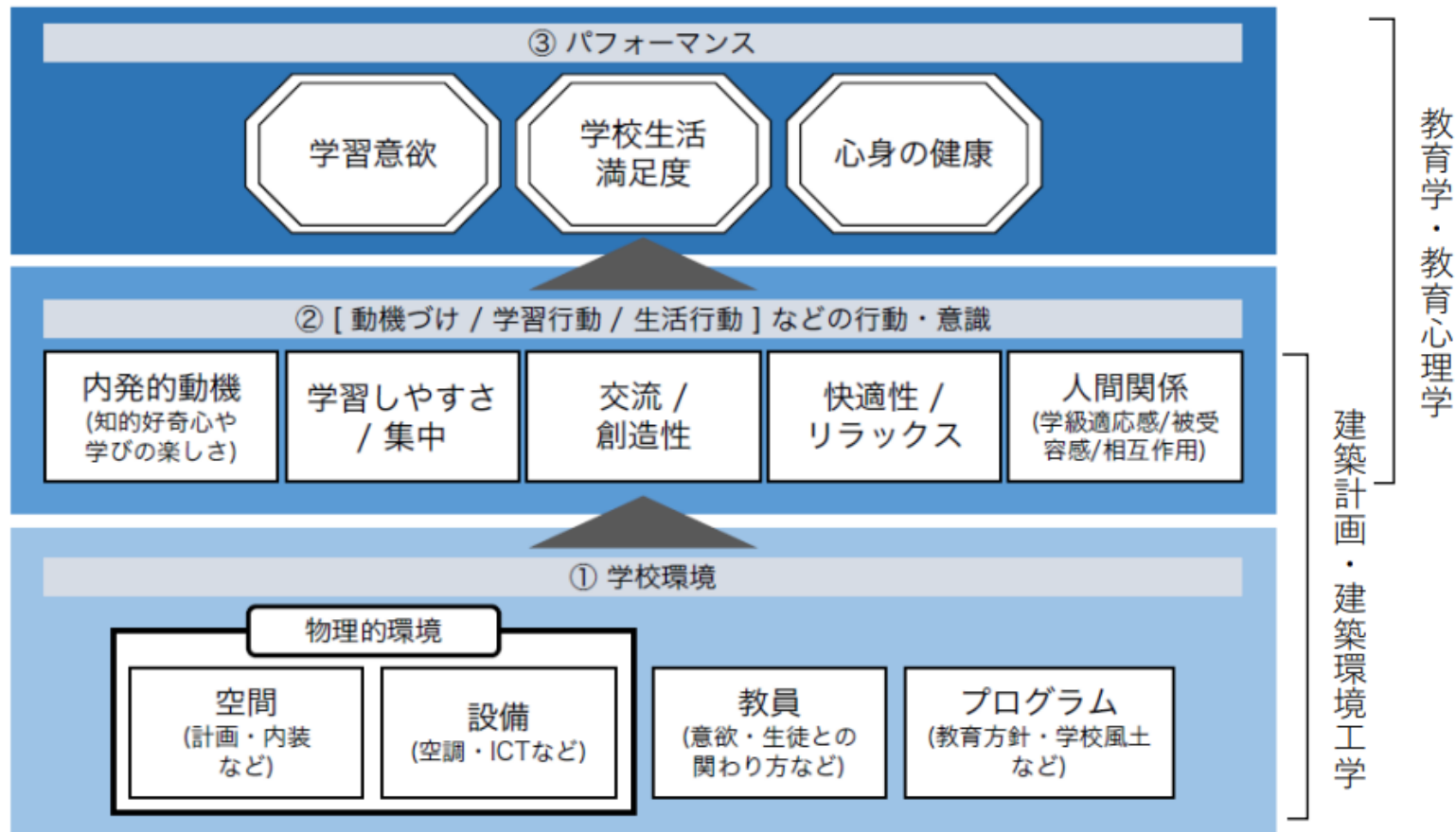
教師が認識している学級の領域と家具の配置が一致している

➡ 教師は学級の領域と認識している場所に家具を配置する

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第2回）の概要

第2回（令和5年4月27日）林委員説明資料（抜粋）

4. 学習意欲等（パフォーマンス）と学校環境の関係性の仮説フロー



参考：学校環境と学習意欲の関係性に関する研究（その1）教室内やオープンスペース、校内の生活空間の環境評価と学習意欲の因果関係に関する検討、田村 太一、林立也、阿部 千聖、日本建築学会環境系論文集、2023年 88巻 806号 p. 233-242

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第3回）の概要

第3回（6月26日（月）14:00-16:00）

議題1 生活の場としての学校施設について

資料1-1 「不登校を経験した生徒が安心して新たなスタートをきることができる学びの環境づくり」を岐阜市立草潤中学校から説明。

資料1-2 「だれでもトイレについて～こども達のモヤモヤ解消のために～」を香芝市教育委員会から説明。

委員の主な意見

- ・子供たちが、不登校の経験も受け止め合い、**自分が受け入れられていることを実感できる環境**があることで、明るく活発に活動できる。
- ・既存施設において、**内装や家具は、環境を変える上で一定の力をもつ**。学校らしくない、柔らかい場所もあるとよい。
- ・限られた人手・予算で目的に特化した施設を別々に作っていくことは困難。**インクルーシブな対応**が大きな流れだと感じる。

議題2 視察報告について

資料2 「東京学芸大学附属竹早小学校・竹早中学校の視察報告」を事務局から説明。

委員の主な意見

- ・教員側に**新しいタイプの教育を行う土壌**があることで、空間（例：オープンスペース）の有効活用や、**更なる学習空間のニーズ**が引き出される。
- ・教室の前に多様なアクティビティーができる空間を設ける方法とは別に、**特別な教室に向かうまでに児童生徒が心の準備をする、切り替わる**という事例。使用する集団とその目的に応じた可変性がある。
- ・学校施設の在り方として、先進的な空間や教育実践だけでなく、**学校が日常の中で着実に目指すべきものが展開できる**ことが大事。

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第3回）の概要

第3回（令和5年6月26日）岐阜市立草潤中学校説明資料（抜粋）

不登校を経験した生徒に配慮した学校施設

③ 普通教室



不登校を経験した生徒に配慮した学校施設

④ 個別最適な学び



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第3回）の概要

第3回（令和5年6月26日）香芝市教育委員会説明資料（抜粋）
（だれでもトイレの整備事例）



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第3回）の概要

第3回（令和5年6月26日）事務局説明資料（抜粋）
（東京学芸大学附属竹早小学校・竹早中学校視察報告）



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第4回）の概要

第4回（8月3日（木）10:00-12:00）

議題1 共創の場としての学校施設について

小林生吉委員より、資料1-1「中頓別町 人生100年学びの拠点づくり」に基づき説明を行った。

国立教育政策研究所文教施設センター 谷口文教施設調査官より、資料1-2「対話を通じた新しい学校空間づくりのプロセス事例紹介」に基づき説明を行った。

委員の主な意見

- ・ **学校に「完成形」は無く、常に進化をする場所**になるとおもしろい。
- ・ 新しい小規模校の姿として、好奇心によって学びに向かう姿勢を育むとともに、**地域・他の学校・世界ともつながり合える仕組み・設備・場**を備えていくという観点がある。また、**地域の人たちと子供たちが常に同じ場で学ぶ**ことが、子供たちを学びに向かわせる。
- ・ 校長の異動によって、設計者が竣工後の校舎のフォローが難しくなることがある。**設計者も含めて、校舎の使い方を継続的に発展させていく仕組み**が行政の中でも確立することが重要。
- ・ 教職員が異動したり設計者が不在であったりする場合でも、**住民の参加・利用によって学校づくりの際の思いを継承**することができるのではないか。町ぐるみの体制、他の町や学校との連携の仕組みも継承の力になり得る。学校運営協議会も活用し得る。
- ・ **新しい学校づくり**には、設計の前の構想・計画段階で、課題や目標を共有し、施設と教育、学校と地域の関わりについて説明し、反対意見も含めて**目標としてまとめていく役割が不可欠**。完成後の設計者の関わり方においても、コーディネーター・提案者としての役割が期待される。多くの**自治体の特色、違いを含めた計画の進め方**について示されるとよい。新しい学校づくりのための担当課を設けて整備指針をまとめる自治体もあり、**これまでの姿に囚われず新し学校づくりが、今必要とされている**ことを強く示すことも大事。

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第4回）の概要

第4回（令和5年8月3日）小林委員説明資料（抜粋）
（北海道中頓別町）

住民参加型で学びの場づくりに取り組む



展覧会形式のWS



親子で参加できるWS



中学校の授業でのオンラインWS



模型や図面を使った設計WS

学びの場の施設の考え方



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第4回）の概要

第4回（令和5年8月3日）国立教育政策研究所文教施設研究センター説明資料（抜粋）

五城目小学校の学校づくり



五城目町立五城目小学校

所在地： 秋田県五城目町（人口：8,369人^{※1} 町内小学校数：1校^{※2}）

児童数： 270人 学級数：16学級（うち、特支学級4）^{※2}

建築年月： 令和2年10月

改築理由： 耐震不足、老朽化

主な対話形式： ワークショップ形式

構造： RC造・一部鉄骨造 3階建て

建設費：約22億円

※1 令和4年12月時点 ※2 令和4年5月時点

【主な対話の時期】



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第4回）の概要

第4回（令和5年8月3日）国立教育政策研究所文教施設研究センター説明資料（抜粋）

星の杜小学校の学校づくり

魚津市立 星の杜小学校



所在地： 富山県魚津市（人口：40,477人 市内小学校数：5校）^{※1}
 児童数： 290人^{※2} 学級数：15学級（うち、特支学級3）^{※3}
 建築年月： 平成31年3月
 改築理由： 学校統合（3校）
 主な対話形式： ワークショップ形式（基本設計～竣工後）
 構造：木造3階建て
 建設費：約20億円

※1 令和4年1月時点 ※2 令和3年6月時点 ※3 令和3年5月時点

【主な対話の時期】



学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第5回）の概要

第5回（8月29日（火）10:00-12:00）

議題1 学びの場としての学校施設について

資料1-1「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実とICT活用」を高橋純委員から説明。

資料1-2「学校・大学・設計者のコラボレーションによる学校空間の活用事例～家具や掲示物の組み合わせによる空間活用について～」を赤松佳珠子委員から説明。

委員の主な意見

- ・可変性のある家具の活用は、**施設（空間）は与えられるものではなく、教職員・児童生徒が主体性を持って教育環境に臨む意識**を維持していく上で効果的。
- ・教育委員会等の実施する教員研修で、建築関係の講師が**教育空間の使い方の研修**を実施すると良いのではないかと。教員に空間活用についての刺激を与えることで、その空間を活用する授業のアイデアが広がっていくのではないかと。**ある環境が新しい活動を生み出す、新しい取組を試みる上でのヒント性を持つ**といった、空間・環境の持つ可能性を、研修の場で、教員へ伝えられるとよい。
- ・職員の異動を経ても、教育の在り方、目標を共有し、学校が一つの組織体として取り組んでいける仕組みづくりが大事。

議題2 視察報告について

資料2「視察報告」を事務局から説明。

（広島県 府中市立栗生小学校、府中市立第一中学校、府中市立府中学園、福山市立常石ともに学園、福山市立想青学園；ドルトン学園）

委員の主な意見

- ・コロナ禍の経験が、教室前のオープンスペースを、シームレスにのびのびと使う一つのきっかけになっている。

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第2,3,4,5回）の概要

第5回（令和5年8月29日）高橋委員説明資料（抜粋）

一人一台端末で「非同期・分散＋協働」活動の促進 個別的かつ協働的な学びの実現へ

同期・集合（単線）



一斉で協働
（教師が指示）

非同期・分散（複線）



協働と個別
（子供が決定）

©2022 高橋純（東京学芸大学）

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第5回）の概要

第5回（令和5年8月29日）事務局説明資料（抜粋） 広島県府中市視察報告 府中市立府中学園（義務教育学校）



普通教室前のオープンスペース



オープンスペースから繋がる普通教室



オープンスペース側に担任机を配置することも可能



教師同士の打ち合わせの場にもなる

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第5回）の概要

第5回（令和5年8月29日）事務局説明資料（抜粋） 広島県福山市視察報告 福山市立想青学園（義務教育学校）



普通教室



普通教室の隣（後ろ）がロッカースペース



共有スペースに遮音パネル付きのソファを配置



教科教室前の「メディア」
授業に関連したものを展示している

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第5回）の概要

第5回（令和5年8月29日）事務局説明資料（抜粋） 広島県福山市視察報告 福山市立想青学園（義務教育学校）



フリーアドレスの職員室



個人ロッカーにPCを保管



保健室



集中作業スペースにもなる談話スペース



立ったまま打ち合わせができるスペース



オアシスルーム
教室以外からも授業参加できる場所を確保

学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ（第5回）の概要

第5回（令和5年8月29日）事務局説明資料（抜粋） 広島県福山市視察報告 福山市立常石ともに学園（小学校）



普通教室と廊下の間はガラス窓



廊下にも机の高さの作業台



普通教室
ホワイトボード代わりに壁



サークル対話のための椅子配置

アイデア集の取りまとめに向けた重要な視点（案）

（1）横断的な視点

① 学校全体が学びの場に

- 学校施設のあらゆる空間が学びの場、教育の場、表現の場、心を育む場になる。
- 柔軟性ある普通教室と、自律的に選択する多様な場所。（WG第3回、WG第5回）
- 学校の規模や実情に応じて、強みを生かせる環境を整える。（WG第4回）
- 学校が、ICTも活用し、地域・他の学校・世界ともつながる場に。（WG第4回）

② 学校の学び心地・教え心地・居心地（ウェルビーイング）

- 個別最適な学びの空間、居場所を整える。（WG第3回、WG第5回）
- 教職員がパフォーマンスを最大化できる環境、仕組み。（WG第5回）

③ 学校（学習空間）づくりへの多様な主体の参画

- 対話を通じた学校づくり。地域住民とともにつくる学校。（WG第4回）
- 教師の新たな発想が生きる学習空間づくり。学校施設を「枠」ではなく「道具」に。
（WG第2回、WG第5回）
- 設計の意図・理念を起点とした環境の改善。継続的な設計者の関与。（WG第2回、WG第5回）

④ 整備後にも続く学習空間づくり

- 施設の使い方を継続的に発展させ、学びの質の向上につなげる。（WG第4回、WG第5回）
- 新しい学びの実践が学習空間の改善・変革の土壌。（WG第3回）
- 教師の新たな発想が生きる学習空間づくり。学校施設を「枠」ではなく「道具」に。（再掲）
- 既存の校舎も、改修や家具の活用で先進的な教育環境に変わり得る。（WG第3回、WG第5回）
- 学校づくりの思いの継承。（WG第4回）

アイデア集の取りまとめに向けた重要な視点（案）

（２）学校施設の５つの姿（※）

（※）「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について 最終報告」（令和４年３月）において掲げられた「５つの姿の方向性」

共創

（例）

- 多様な「知」を集積する学校施設。子供も、大人も学べる場所。
- 地域住民による校内拠点づくり。
- 地域クラブ活動、放課後補習 等

生活

（例）

- 児童生徒が、受け入れられていることを実感できる環境。
- 居心地がよく、温かみのある環境（家具、トイレ、小空間等）。
- 教師の教え心地、働き心地がよい環境。
- オンとオフの切り替えができる場所。

学び

（例）

- 複線型の学び、非同期・分散型の学びが展開される教室と多目的スペース
- 家具を効果的に活用し、柔軟に変化する学習空間
- ICTで拡張する学習空間
- 図書館を中心に据えた学校

安全

環境

（例）

- 地域の避難所。
- ZEBの校舎で環境教育。

これまでいただいた意見

(学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議、 学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループでの主な意見など)

2023/3/14
学校施設の在り方に関する
調査研究協力者会議（第2回）
資料2の抜粋

- 「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（第2回）」での主な意見
 - ・ 学校施設整備後であっても、空間の使い方に関する**児童生徒からの提案**を受け入れられる**可変性のある**学校であることが重要ではないか。
 - ・ **既成観念から抜け出して**自由に考えられるよう、学び心地・教え心地・居心地がよいという**学習空間の質を提示**してはどうか。
 - ・ **教職員のウェルビーイング**を取り上げて欲しい。教職員にとって、**空間の居心地の良さ**が重要ではないか。
 - ・ 学校施設が、**地域のコミュニティの拠点**となる例を取り上げてはどうか。
 - ・ 学校には、**カウンセラーや民間企業の方が**いる場合もあり、そのような人にとっても**働きやすい環境**とすることが重要ではないか。
 - ・ 学校施設整備の過程での教職員の参画など、**プロセスやコミュニケーション方法**についても事例を取り上げることが重要ではないか。
 - ・ 各事例の**タイトルのつけ方、言葉の使い方**を工夫して欲しい。
- 「学校施設の質的改善・向上に関するワーキンググループ」での主な意見（各委員との事前打合せでの意見を含む）
（全体構成に関すること）
 - ・ **新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）**とつながりを持たせて整理してはどうか。
 - ・ **パターンランゲージ（辞書）**を示しつつ、**実際にやってみた事例（辞書の取扱説明書）**を示してはどうか。
 - ・ 固定概念に囚われない事例を示しつつ、**学校設置者にとって**、自分たちの学校づくりの条件に照らして、**考えるヒントが得られると良い**。
 - ・ **学校設置者や設計者が周囲を説得する際の材料**として活用できるような先行事例を示せると良い。
 - ・ 「こうつくる」のみならず、「こう使って」「こうなる」を**合わせて示して**はどうか。
- （掲載する事例に関すること）
 - ・ 廊下や中庭の活用など、**学校全体を学びの場**とした事例を取り上げてはどうか
 - ・ 1人1台端末により、学校現場では、**オープンスペースの活用が活発**になってきている。そのような事例を取り上げてはどうか。
 - ・ わくわくする時間・空間と、**ほっとする時間・空間**をうまくデザインした事例を取り上げてはどうか。
 - ・ **従来のパソコン教室を**、大型3Dプリンタの設置や動画編集が可能な**FABラボとして機能向上**した事例もある。
 - ・ 共創の視点として、**学校施設整備がまちづくりにつながる**や、**地域が学校によってどう変わったか**という事例を取り上げてはどうか。
 - ・ 学校施設の**放課後活用、部活動の地域移行**の視点も検討してはどうか。
 - ・ 安全・安心の観点から、災害時に**学校施設が地域の防災拠点**となる事例を取り上げてはどうか。
 - ・ **エコスクール**の事例を取り上げてはどうか（学校施設を環境教育として生かす）。
 - ・ **木の活用**とウェルビーイングが結びつくのではないか。
 - ・ 「**教職員が、快適に働くために**」という視点があると良い。
 - ・ 先生が異動した後も効果的な**空間使い方を伝えられるようなマニュアルやマニュアルの作り方の事例**も示してはどうか。
 - ・ 海外の事例も入れることを検討できないか。

（掲載する情報に関すること）

- ・ 写真だけではなく、QRコードの掲載により、**動画**が見られるようにしてはどうか。